



100号記念

南みのわ 議会だより

12月定例議会

南箕輪村議会 〒399-4592 長野県上伊那郡南箕輪村4825-1
Tel. 0265-72-2104 Fax. 0265-73-9799

主な内容

- 議会と語る会 P2～P5
- 100号発行によせて P6
- 議会基本条例(案) P7～P9
- 12月定例会 P10
- 一般質問 P11～P15
- 議会活動 P16

No. 100

2013.2.1 発行

発行責任者 議長 原 悟郎
編 集 議会報編集委員会

URL <http://www.vill.minamiminowa.nagano.jp>
E-mail gikai-d@vill.minamiminowa.nagano.jp

議会のホームページをリニューアルしました。
一段と見易くなりましたので、ぜひご覧ください。

会」初開催

の一つとして、去る11月20日、初めての住民と議会が語る会を開催しました。地方分権に対応とするための取り組みの一環。70名ほどの住民の皆さんの参加があり、住民から多くの質問や質問の内容に応じて担当する委員会の議員に振り分けて、それぞれ考えを返答しました。

皆さんのが、今後の議会活動や村政に反映させてまいります。

当日出された質問内容と各議員からの返答を紹介します。また当日参加された皆さんにアンケートやご意見も併せて掲載します。



原 新規転入者には役場窓口で職員が、また区役員が加入の説明をし推進か?

村に自宅を建てた世帯に、区・組の加入の推進状況は?

また条例化できないのか?

丸山 関心事であるいじめ・不登校は数件あり注目です。教育関係者との懇談で、現在の課題はあるのか?

小坂 各自把握し、例えば予算化する際に審議しているが、各議員は特定の区に限らず全地区の後押しをしています。

都志 大震災と当村を比べるのは難しいが、村も避難勧告を早めに出すなど率先した行動が大切。

久保村 住民と一緒につなげて運動したり再要望したりできる。

小坂 地区要望を各議員は把握しチェックしているのか?

百瀬 想定にとらわれるな。地区防災のあり方、避難所の設営、自助共助公助の大切さを感じました。

原 一般質問時、村長ができるない」と答弁した場合の対応は?

原 村では、区の要望をまとめて3ヵ年計画で優先順位をつけて対処しています。

丸山 石巻の門脇小学校で校長先生が一早い避難を促したが、別の学校では多くの被害者が出了。

唐澤 放射能の恐ろしさ、脱原発しないとこの地域も危ない。H18年水害、早期避難の経験を生かしたい。

原 村内道路の水たまりなど不具合個所が長年直らないのはなぜか?

丸山 議員が東北の被災地を視察したが、村での活動に結びつかなければもつたいない。参考になつたことは?

久保村 わが地域でも豪雨時1m近くの水たまりが。そこに車で飛び込んで道路管理者に文句を言う人もいる。災害時は各自が現状把握する大切さを感じた。

小坂 村長によると、条例化はできますが強制でききないのが法律上の現状のことです。

丸山 視中。不安定なクラスも徐々に改善していることなどが公開授業で確認できました。

久保村 視中。不安定なクラスも徐々に改善していることなどが公開授業で確認できました。被災など制度を使って対応することの大切さを感じた。

山崎 農地の塩害復旧が困難。わが地域でも豪雨が。そこに車で飛び込んで道路管理者に文句を言う人もいる。災害時は各自が現状把握する大切さを感じた。



『議会と語る』

議会活性化の大きな活動でき、住民に開かれた議会意見、要望が出されました。ここで頂きました住民の今回の議会だよりでは、ケートをお願いし、その結

原 山口、久保村 場所は伊那市の富士塚グランドの北側にH27年完成予定です。上伊那広域消防の合併や無線デジタル化も併せて検討しています。

伊那消防署移転の検討はどうなっているか?

小坂 審議で使う言葉は堅くなりがちですが、わざりやすく言い換えたり、お茶の間で読めるよう易しく心がけています。

議会だよりは行政用語が多く、堅苦しく読みにくいが(例えば村道○号線がどこなのか)?

原 山口、久保村 議決結果は割れることもあるし、討論も活発にしています。

議決結果に全員賛成がほとんどだが、きちんと審議しているのか?

山崎 関係する各委員会で検討している最中です。

まつくんファームが法人化されたが、後継者問題、有休農地問題を抱える中、農業経営が成り立つよう進めてほしい。

唐澤 地域の声かけが減っている。村としても進めるべきと一般質問もしたところです。

若い村だが独身男性が多く婚活が進まないが?普及がわからないが、議会提案もしていきたい。



村境確認作業（理事者とともに）

久保村 プラスチック容器など処理の難しい製品を作る会社に、再利用や安全処理の責任を持たせるように要求をしたもの。デポジットとは販売代金に預かり金を含めておき、空き缶・空き瓶を返せば預かり金を返却する制度。

意見 避難訓練などに個所をお聞きし、役場担当に伝え対処を図ります。

意見 人づくりの教育がされているか?
問題が起きることを防ぐことに終始していくいか。

意見 防災無線が聞き取れない。

陳情の拡大生産者責任、デポジットとは?

議会と語る会

議員のみなさまには、南箕輪村のこれから3年後、5年、10年といった将来の夢を語つてもらいたいです。今のはいろいろな所から上がってくるとと思いますが、将来の南箕輪村、議員のみなさまの夢を語つてもらわなければ、と思います。これからもガンバッテください。今日はありがとうございました。これからです!!

(男性40代)

いろいろ議会(用語)の難しい内容でしたが、質問の内容から徐々に少し理解できたような気がします。これからも続けていていただき、多くの人が区に入るよう考え、推進して頂きたいと思います。

(女性50代)

お疲れ様でした。今後はもっと議会に興味をもち応援していきたいと思います。

(女性50代)

教育について…小学校、中学校の生徒の間にいろいろと人間関係のひずみからいじめ問題となっています。学校の先生方にぜひとも人間としての生き方について、ぜひまずは親を大切に、友達を大切に、自分を大切に生きたい。各区での防災に対する考え方方が違います。そのため、しっかりと対策をしてもらいたい。

(女性60代)

次回も出席し、意見を聞くことができればよいと思っています。

(女性60代)

デジタル受信機の有効な活用を…トランペットに近いところは不要。困っている地域へ回す?議員の皆さんを身近に感じられてよかったです。良い意見も出されてよかったです。

(男性80才以上)

議員のみなさまには、南箕輪村のこれから3年後、5年、10年といった将来の夢を語つてもらいたいです。今のはいろいろな所から上がってくるとと思いますが、将来の南箕輪村、議員のみなさまの夢を語つてもらわなければ、と思います。これからもガンバッテください。今日はありがとうございました。これからです!!

(男性40代)

いろいろ議会(用語)の難しい内容でしたが、質問の内容から徐々に少し理解できたような気がします。これからも続けていていただき、多くの人が区に入るよう考え、推進して頂きたいと思います。

(女性50代)

お疲れ様でした。今後はもっと議会に興味をもち応援していきたいと思います。

(女性50代)

教育について…小学校、中学校の生徒の間にいろいろと人間関係のひずみからいじめ問題となっています。学校の先生方にぜひとも人間としての生き方について、ぜひまずは親を大切に、友達を大切に、自分を大切に生きたい。各区での防災に対する考え方方が違います。そのため、しっかりと対策をしてもらいたい。

(女性60代)

次回も出席し、意見を聞くことができればよいと思っています。

(女性60代)

デジタル受信機の有効な活用を…トランペットに近いところは不要。困っている地域へ回す?議員の皆さんを身近に感じられてよかったです。良い意見も出されてよかったです。

(男性80才以上)

アンケートのご意見ご要望

よろしくお願ひします。

(男性50代)

先日(行政懇談会)があり、質問したが、経ヶ岳のアピールをお願いしたい。経ヶ岳は日本二百名山であり、また

全議員出席、全員発言、大変素晴らしい企画だと思います。今後も定期的な開催を望みます。

(女性70代)

意見が出てとても良い会であつたと思う。全員勉強できて良かったと思う。(女性70代)

いろいろ議会(用語)の難しい内容でしたが、質問の内容から徐々に少し理解できたような気がします。これからも続けていていただき、多くの人が区に入るよう考え、推進して頂きたいと思います。

(女性50代)

議会活動報告では金額等の説明で詳しい活動内容を知りたい。地区の要望を区と一緒にになって考えていただきたい。

(女性50代)

ある程度優先順位を決めて村へ要望を出して欲しくな私としてお願ひたい。

（男性60代）

（女性70代）

（女性70代）

伊那谷全体につながるような大きな考えも必要と思う。観光か農業かとの高度な事へも気を向けてください。

（男性70代）

（女性70代）

（男性80才以上）

大変良かつたと思います。また参加します。

（女性70代）

意見が出てとても良い会であつたと思う。全員勉強できて良かったと思う。(女性70代)

（男性50代）

（男性50代）

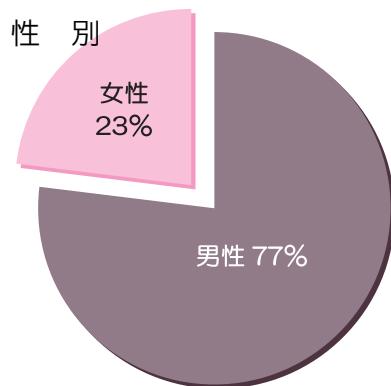
（男性60代）

（女性70代）

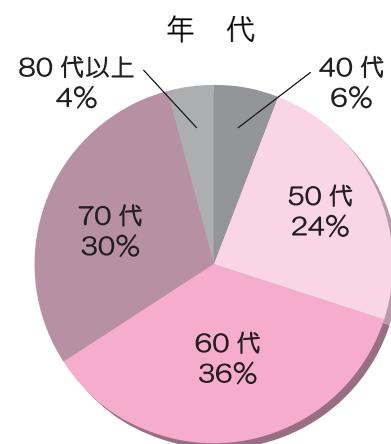
（男性80才以上）

参加されたみなさんの アンケート集計結果

○性 別	男性	女性	計
	41	12	53



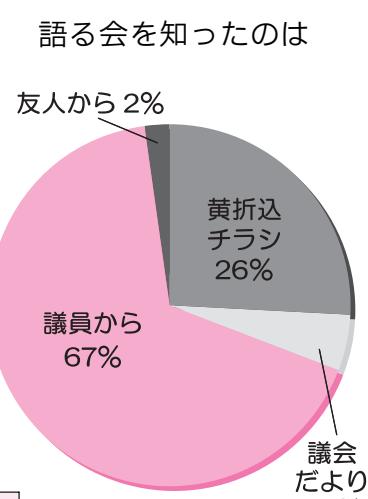
○年 代	40代	50代	60代	70代	80才以上	計
	3	13	19	16	2	53



○地 区	久保	中込	塩ノ井	北殿	南殿	田畠	計
	7	1	1	7	6	6	
神子柴	沢尻	南原	大芝	大泉	北原	村外	52
9	2	0	0	11	1	1	

○語る会を知ったのは? (重複あり)	黄折込チラシ	議会だより	議員から	友人から	計
	16	3	41	1	61

○会の印象は?	良かった	どちらとも	悪かった	計
	38	7	0	45



○本会議の傍聴経験は?	ある	ない	計
	15	35	50

⇒ない理由は?	関心なし	時間帯	その他	計
	6	22	6	34

- 議会傍聴したことのない理由…
- 傍聴に行って良いものか迷う（男性40代）
 - 知らなかった（男性60代）

○議会だよりについて	毎回読む	読んだことあり	読まない	計
	26	21	3	50

○議会テレビ中継について (9月初回放送分)	見た	見なかつた	計
	8	42	50

⇒見なかつた理由は?	知らなかつた	時間帯	ケーブル未加入	その他	計
	18	17	7	3	45

- テレビ中継見なかつた理由…
- 放映時間がわからなかつた（男性70代）

100号発行によせて



議長 原 悟 郎

25年続いている議会だより

振り返ってみると、この第1号発行の前後の時期は政争の村として有名で、大小の紛争があり村内が荒れた時期が続い

とともに変化し、現在ではインターネットホームページによる情報の配信や、平成24年9月議会から一般質問の様子をケーブルテレビで放映することも始めました。さらに、開かれた議会活動に向けて各種団体との懇談会や

「議会と語る会」を開催し、3月定例会では「議会基本条例」を制定する予定です。

こうして考えると、いつの時代の議員も議会活動の充実や改革に取り組む姿勢は高いものと感じました。村民の皆さんに

これを機に、今後ともご努力を積み重ねられ、村民にとって身近な「議会だより」となりさりに号増していくことで、村民にとって身近な「議会だより」となります。これにより情報公開並びに情報伝達が一段と加速していますが、当時の議会だよりは議会側から見た村政を村民の皆さんに伝えする重要な情報手段でもありました。

(6)

『議会だより』第100号発行に寄せて



村長 唐木 一直

今から四半世紀前の昭和63年5月1日に「議会だより」が発刊されてから、今回で第100号となります。これまで努力されてきた諸先輩、関係者に感謝とともに敬意を表します。

発行の目的は「開かれられた議会活動を目指して」とされており、第1号を読み返しますと当時の議員の活動と意気込みが伝わってきます。当時の議会改革の目玉は、一般質問を有線放送で流すことや、議会だよりを発行することとなっていました。

この間議会は、平成16年に村が自立の道を選択したことを受け、議員数を16人から10人に削減しました。議会広報も時代

感謝を申し上げます。

この「議会だより」は昭和63年5月、ようやく開かれた議会活動をめぐらしく郡下でもいち早く発行したものです。

たものと記憶しています。また当時、私は議会事務局長でありましたので、

南箕輪村の「議会だより」も本号で第100号を迎えたことを受け、議員の皆様、また愛読していました。

この間議会は、平成16年に村が自立の道を選択したことを受け、議員数を16人から10人に削減しました。議会広報も時代

は、議会だよりを初め議会のいろいろな情報公開に注視していただき、ご意見をいただきたいと思います。

これからも内容を充実させるとともに活動する議会となるため努力していくことを議員一同お約束し、100号発行記念のあいさつといたします。

これを機に、今後ともご努力を積み重ねられ、村民にとって身近な「議会だより」となります。これにより情報公開並びに情報伝達が一段と加速していますが、当時の議会だよりは議会側から見た村政を村民の皆さんに伝えする重要な情報手段でもありました。

四半世紀が経過し、議会活動を通して村の歴史の一部が綴られている大切な資料ともなっています。

バブル崩壊後の長引く景気低迷により、社会情

ていました。その後、徐々に平穏を取り戻していました。

とともに変化し、現在ではインターネットホームページによる情報の配信や、平成24年9月議会から一般質問の様子をケーブルテレビで放映することも始めました。さらに、開かれた議会活動に向けて各種団体との懇談会や

「議会と語る会」を開催し、3月定例会では「議会基本条例」を制定する予定です。

こうして考えると、いつの時代の議員も議会活動の充実や改革に取り組む姿勢は高いものと感じました。村民の皆さんに

これを機に、今後ともご努力を積み重ねられ、村民にとって身近な「議会だより」となります。これにより情報公開並びに情報伝達が一段と加速していますが、当時の議会だよりは議会側から見た村政を村民の皆さんに伝えする重要な情報手段でもありました。

四半世紀が経過し、議会活動を通して村の歴史の一部が綴られている大切な資料ともなっています。

(6)

議会基本条例



村民とともに活動する議会とするために 「議会基本条例」の制定を目指しています

南箕輪村が住民投票の結果、自立の道を選択した際、議会としても、検討すべきことについての議論があり、その中ですぐ取り組めることとして「議員歳費の削減」が挙げられ、議員定数削減や議員が会議に出席した際の報酬支払いの廃止等が決定されました。

特に議員定数については議論の末、平成18年に定数を16人から10人に減らすことを議決し、現在に至っています。

地方分権や地域主権が叫ばれるなかで、住民の代表として政策を

提言し、行政を監視する地方議会の役割と責任も大きくなってきています。当議会でもさらに活発な議会活動を目指し、また住民に開かれた議会となるため活性化に向けた検討をしてきました。そこで「住みよい村づくり」を求め、村民と議会と行政がどう関わっていくのかという基本的な事項を定めたものが「議会基本条例」です。

次ページに紹介する条例案はこのあと最終的な検討を加え、次回開かれる3月定例会での制定を目指しています。

南箕輪村議会基本条例（案） H25年1月現在

目次

前文

第1章 総則（第1条）

第2章 議員と議会の役割

第3章 村民との関係（第7条—第8条）

第4章 村長や執行機関との関係（第9条）

第5章 補則（第10条）

附則

平成16年（2004年）7月、平成の大合併が全国的に進められる中、本村は住民投票の結果、自立を選び、本議会は、近年続いてきた議員定数16名を10名に削減しました。村民にわかりやすく、開かれた議会を目指すため、平成22年4月に『議会活性化委員会』を立ち上げ、その後、議員構成は変わり、平成23年6月に『議会活性化検討特別委員会』を設置し、各種団体との懇談会など村民との意見交換を重ね、各種改革を実践してきました。

村民に選ばれた私たち議員はこれからも、村民と一緒に考え、しっかりと議論しながら議会改革を進めます。また、議員や議会の責務や活動原則、村民や村長との関係などを明らかにし、

村民の負託に応え、村民の福祉の向上と村政の発展を実現するために、「南箕輪村議会基本条例」を制定します。

『説明』条例を制定するに至った過程、理念などを述べています。
※負託・責任を持たせ任せること。

（議員の責務）

第3条 議員は、村民の代表であることを自覚し、村民の意見を的確に把握して、議員としての役割を公正かつ誠実に果たします。

（議会の責務）

第4条 議員は、村民から選ばれていることと自覚し、村民の意見を反映し、暮らしやすい南箕輪村となるよう努力することを述べています。

（議会の責務）

第5条 議会は、二元代表制のもと村民の代表機関として、村政の課題を把握し、政策の提言や立案に取り組み、村の重要な政策などを決定します。
2 議会は、村長などの事務執行が適正に行われているか監視します。また、公平性および効率性をもって行われているか審査し、効果および成果について評価します。

（議員の活動原則）

第4条 議員は、資質向上のため各種研修会に積極的に参加し、専門家による研修会を開催します。

2 議員は、議会および議員活動について村民にわかりやすい説明を行います。

3 議員は、議会全員協議会、各委員会などを通じて、^{*}合議制のもと、言論の場として議員間の自由な討議を行います。

（議会の活動原則）

行う事務が適正かどうかのチェックの強化、政策の立案や提言を積極的に行うことなどを述べています。

※二元代表制・地方自治体において、その地域に住む住民が村長と議員をそれぞれ直接選挙する制度で、それぞれ独立した機関となっていること。

（議会の活動原則）

議会は、前条の責務を果たすため、村民の意思および意見の把握に努め、それらを村政に反映させ、村民に開かれた議会を目指します。

2 議会は、村民が議会の催す活動へ参加する機会をつくります。

（説明）議員の政治倫理
第2章 議員と議会の役割
（議員の政治倫理）
第2条 議員は、村民の負託に応えるため、良心と責任感を持って、品位を保持し、識見を養うよう努めます。

（説明）村民の代表として、議員である自覚を持ちながら常に行動する姿勢を述べています。

（説明）議員自身が資質向上を図り、村民の意見を幅広く吸収できるよう努力することを述べています。

議員間の討論や政策論議を積極的に行い、議会本来の機能を發揮できるようすることを示しています。

※合議制・複数の人人が集まって決めることがあります。

3 議会は、他の自治体との交流及び連携を推進し、議会のあり方について調査研究を行います。

議会基本条例

《説明》 村政のさまざまな課題や推進する施策に対し、村民の多様な意見を把握し生かすことを述べています。

第3章 村民との関係

(村民との連携)

第7条 議会は、議会報告会、村民各層および各団体との懇談会など、村民との意見交換の場を設けます。

2 議会は、請願、陳情などを政策に関する提案とともに、誠実に処理します。

《説明》 村民と議員が意見交換していきます。また、村民などから提出された請願や陳情を尊重することを述べています。

(情報公開)

第8条 議会は、村民への説明責任を果たし、より開かれた議会を目指すため、議会だよりやホームページなど多様な広報手段を用いて、情報を公開、発信します。

《説明》 村民に対する説明責任を明確にし、情報公開を推進。さまざま広報手段により村民に関心を持たれるような議会活動をすることを述べています。

第4章 村長や執行機関との関係

(村長などの関係)

第9条 議会は、常に村長など執行機関と緊張関係を保持します。また、村政における重要な政策及び課題を充分に検討するため、村長など執行機関に具体的な説明、資料の提示を求めていきます。

《説明》 議会と村長や執行機関との関係を示しています。村長などは、村の重要な政策を策定・変更する場合は、議会を通じて村民によく説明するよう求めています。

第5章 指導

(検証及び見直し)

第10条 議会は、この条例の目的が達成されているかどうかを、村民の意見や社会情勢の変化を把握しながら、常に検証します。

2 検証の結果、必要な場合はこの条例を見直し、適切な処置を講じます。

《説明》 村民の意見や社会情勢を見ながら、見直しが必要なときは検討して対応します。



↑中学生模擬議会のようす



東日本大震災被災地への視察 ↓

議会報告

12月定例会は12月3日から14日までの日程で開かれました。

11議案はすべて原案のとおり可決。請願陳情は陳情3件が提出され、採択1件、継続審査2件となり、意見書1件が国へ提出されました。

12月定例会で 決まりました

	件 名	賛 成	反 対	議決結果
専決処分	H24年度一般会計補正予算（第4号） …… 衆議院議員選挙事務に伴うもの	9	0	可決
条例関係	議会委員会条例の一部改正 …… 地方自治法の改正に伴うもの	9	0	可決
	村職員定数条例の一部改正 …… 総数は変わらず、村長事務部局の強化	9	0	可決
	福祉医療費給付金条例の一部改正 …… 医療費無料化を満18才まで引き上げ、精神障がい等級の拡大、1回の診療明細書ごとに300円を500円に引き上げ			
	●反対討論：久保村…18才までの医療費無料化は懸案の実現だが、引き換えに福祉医療費の受益者負担金を引き上げることに反対する。 ●賛成討論：小坂…一部の方々の負担金のみを低いままで抑えているが、医療費増の中、他全体への逆差別につながってしまうので改正に賛成。 ●賛成討論：山口…医療費は年々増えている。応分の負担は必要だ。これから時代を担う若者への支援が必要だ。	8	1 (久保村)	可決
	村営水道条例の一部改正 …… 一括納入すべき加入金を（アパート等の場合）分割可とするもの	9	0	可決
	暴力団排除条例の一部改正 …… 関係法律の改正による項ずれ	9	0	可決
	議会会議規則の一部改正 …… 地方自治法の改正に伴うもの	9	0	可決
	一般会計補正予算（第5号）	9	0	可決
	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	9	0	可決
関係別表 （24年度補正予算）	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	9	0	可決
	下水道事業会計補正予算（第2号）	9	0	可決
	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情（経済厚生委員会の審査結果は採択）	9	0	採択
	→意見書の提出	9	0	提出
請願・陳情	すべての原子力発電所再稼働の中止を求める陳情（総務文教委員会の審査結果は継続審査）			
	なかよしクラブの継続と拡充を求める陳情（経済厚生委員会の審査結果は継続審査）			

平成24年度補正予算

別表1

会 計 别	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計（第4号）	653万円	52億1388万円
一 般 会 計（第5号）	5319万円	52億6707万円
介 護 保 険 特 別 会 計（第2号）	増減なし	7億7619万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計（第3号）	9371万円	12億1405万円
下 水 道 事 業 会 計（第2号）		
資 本 的 収 入	-5180万円	2億1707万円
支 出	-5600万円	4億2239万円

議会報告・一般質問

一般質問のその後

 平成24年9月定例会の一般質問のその後の経過
(村から報告のあったもの。質問順に掲載)

質問者・質問内容	担当・対応
久保村義輝 ●村の防災訓練で、自主防災会との連携が不十分だったのでは。	→総務課：10月の自主防災組織連絡会で、課題等について整理した。次回の訓練では、避難者のカードと安否確認情報の様式を用意し、各自で記載してもらう。多少時間がかかるが、とても重要なことなので事前周知する。
山崎文直 ●災害時、道路脇のブロック塀が危険。危険箇所の調査をしたことがあるか。 塀の改修に住宅リフォーム補助制度を適用できないか。	→総務課：10月の自主防災組織連絡会で、調査をお願いした。 →建設水道課：当面現行どおり対象外で、補助制度なし。
都志今朝一 ●子ども地球サミットの今後の取り組みは。 ●村民体育館アリーナ床修繕のH26年度設計予定を前倒しできなか。	→総務課：現在検討中で、H25年度当初予算の策定時までには結論を出す予定。 →教育委員会：H26年度に屋根防水処理工事、H27年度にアリーナ床張替工事は3カ年実施計画に掲載済み。
唐澤由江 ●省エネ、節電対策でインバーターのHIF蛍光灯器具への切り替えを。電気使用料をデマンド方式で監視してはどうか。	→総務課：省エネ照明器具のコンサル業務を委託中で、年度末に結論が出る予定。デマンドの監視は中部電力に申請した。
丸山豊 ●あじーな前の横断歩道を要望しているが、設置費を村が負担してはどうか。	→総務課：伊那建設事務所（道路管理者）は、県道敷地内に避難所を村が設置することに異存がない。伊那警察署は、横断標識について道路管理者と村が相談すれば問題ないとのことで、今後も三者で協議していく。
小坂泰夫 ●社協の結婚相談事業について、他市町村との連携推進を、村でも後押しして。	→総務課：村の社協へ、上伊那に結婚相談センター等を設置し広域事業とするようお願いし、村でも支援していく。
百瀬輝和 ●避難所でのペットの扱いについて ●療育に関して、個別支援ノートの導入を。 Mチャット=乳幼児自閉症チェックリスト（親がテストできるもの）の導入を。	→総務課：自主防災組織連絡会に投げかけた。難しいテーマで、地区ごとに異なる場合もあり、各地区防災会で検討することとなった。 →子育て支援課：県がファイリングシステムを希望市町村に配布する。それを試してみて活用を検討したい。 県の研修の予定は今のところない。県の動向に合わせて導入していきたい。

問 村での教科用図書を作成。

教育委員長 ①本来は学校設置者教育委員会だが、無償措置法により採択協議会での決定を優先。②委嘱機関である研究員会より調査結果を受け、質疑意見を述べ合い理由を明確にして報告書を作成。

問 教育委員長 ①教科用図書の最終決定権者と②採択協議会の選定方法は。

答 村長 領土問題は国家の基本である。正確な歴史の事実を教える必要性はあり、教育の一環である。

文科省検定済歴史・公民教科書…内容の違いは？

教科書採択について



丸山 豊

問 教育委員長 学習指導要領に基づき、子どものが知的発達に応じて段階的に教え、身につけていかなければならない歴史認識と考える。

答 教育長 の個性、得意科目、正規非正規などによりあるが、学年での進度調整、定期的な教科会、学力テストの分析や学習会等ベテラン・若手教師とも相互に努力していく。

問 教育委員長 中学校生徒会が人権教育句間の取り組みとして、自発的にいじめアンケートを実施。学年枠を超えて小集団に分かれ意見交換後、生徒全員が体育館に集まり、報告し内容を共有。最終的には「いじめ撲滅宣言」にまとめられる。こうした生徒会の動きに期待する。

答 教育長 中学校生徒会は。学校現状のその後

教育長 正確な歴史事実を教えることは当然であるが、領土の問題だけで授業の半分を費やすのは問題である。さらには、歴史を形成してきた東アジアの中の日本の位置付けという観点を持つた歴史も併せて大事である。

一般質問

次期村長選への出馬の意欲は



都志 今朝一



H24年度事業工事が進む村道1009号線(北殿中川原東)

問 平成24年度事業および予算執行の状況は、11月末現在で一般会計の歳入・歳出とも順調な執行状況である。

問 2期 目公約の自己評価は、来期改選の村長選に出馬の意欲は。

答 平成25年度予算編成の時期だ。予算規模はどのくらいか。本年度の予算執行の状況は。

答 現在、新年度の予算編成の作業中。来年度は骨格の編成であり、村長選挙後に肉付けをすることになる。入所児童の増加による

南原保育園の増築と、地元要望の田畠公民館の建設については骨格予算に計上する。予算規模については歳入見込みは前年と比較して減額となる。骨格予算の歳出は今年度並みの48億程度、肉付け後には51億から52億程度になると思われる。

答 評価は自分でするものではなく、村民の皆さんにして頂くものと考える。

次期村長選挙については、12月議会に向けて地元後援会、村全体の後援会に相談してきた。人口一万五千人の村づくり、地域づくりを進め、自立にむけ力強い村にするために、出馬するよう全会一致で要請された。村民が健康で元気な村を目指し、出馬を決意した。現

在のため、村民のためには、骨格の編成であり、村長選挙後に肉付けをすることになる。入所児童の増加による

南原保育園の増築と、地元要望の田畠公民館の建設については骨格予算に計上する。予算規模については歳入見込みは前年と比較して減額となる。骨格予算の歳出は今年度並みの48億程度、肉付け後には51億から52億程度になると思われる。

答 評価は自分でするものではなく、村民の皆さんにして頂くものと考える。

村長 平成21年4月から2期目の村政を担当し、任期も残すところ4カ月となり常に初心を忘れず村政運営をしてきた。2

期目の選挙に6項目の公約を掲げ、その中のハーフ面・ソフト面公約達成のため数多くの事業を実施してきた。財政も健全化が維持できた。

答 3年前に県が引き上げた時に村は据え置きを決めた。当時と状況は変化していないのでは。3年前に県が引き上げた時に村は据え置きを決めた。当時と状況は変化していないのでは。3年前に県が引き上げた時に村は据え置きを決めた。当時と状況は変化していないのでは。

答 福祉医療費は自己負担の一部を村が助成しているが、年々増加している。県の補助枠を超えて制度を拡充してきた。村の制度は抜きん出でているが、精神障害者への支援改善と18才まで無料化でバランスを図る。幅広く新しい支援をするために、負担金の増額も求め、新たな基準に従つて安全確保を進める。

防災のために構造物の安全点検の徹底を



久保村 義輝



施設の老朽化について、専門的な検査を

問 中央道の笹子トンネルで天井が落下し多数の死傷者が出た。簡易な点検で済ませていたことが指摘されている。

答 このことから村内の急傾斜地の状況や、擁壁・橋などの老朽化も含めた検査が必要ではないか。橋は昨年点検済みで、長寿命化計画により修繕していく。5年ごとに定期点検と職員によるとの定期点検と職員による年1回の巡視をしている。

答 福祉医療費は自己負担の一部を村が助成しているが、精神障害者への支援改善と18才まで無料化でバランスを図る。幅広く新しい支援をするために、負担金の増額も求め、新たな基準に従つて安全確保を進める。

答 本村は子育て・教育・福祉の向上に取り組み充実させてきた。今回医療費無料化を18才未満まで引き上げる決断をされた。しかし引き換えに、福祉医療費の受益者負担金を引き上げるのは納得できない。

着実な積み上げによる福祉施策の充実を

答 3年前に県が引き上げた時に村は据え置きを決めた。当時と状況は変化していないのでは。3年前に県が引き上げた時に村は据え置きを決めた。当時と状況は変化していないのでは。

答 福祉医療費は自己負担の一部を村が助成しているが、年々増加している。県の補助枠を超えて制度を拡充してきた。村の制度は抜きん出でているが、精神障害者への支援改善と18才まで無料化でバランスを図る。幅広く新しい支援をするために、負担金の増額も求め、新たな基準に従つて安全確保を進める。

答 本村は子育て・教育・福祉の向上に取り組み充実させてきた。今回医療費無料化を18才未満まで引き上げる決断をされた。しかし引き換えに、福祉医療費の受益者負担金を引き上げるのは納得できない。

着実な積み上げによる福祉施策の充実を

一般質問

支援の手を



山口守夫

問 村の生活保護受給者は過去5年間で3倍に増加した。受給決定された理由は、また支援策は。

村長 収入、資産、家族の状況の調査を行う。村では病気や障がい者の世帯が一番多い。

支援は県のケースワー

カーや行い、村は生活保護以外の支援制度はない。

問 村内での不正受給の実態はあるか。

村長 関係機関と連絡調整を密に行っていて不正受給はない。

問 セルフネグレクトの実態と支援体制は。

村長 村で把握している事例は2件ある。地域全体で問題を把握し、地域力を高めることを真剣に考えていく。

問 高齢者のみの家庭が増加

高齢者のみの家庭

の安否確認、そして支援策は。

村長 緊急通報装置36人、非常時情報が入るキットの配布129人、配食サービス16人が利用している。地域包括支援センター

関係者11人が安否確認を行ったり、民生児童委員の皆さんの訪問活動により安否確認を行っている。

問 高齢者・障がい者・児童虐待の実態と支援は。

村長 高齢者は2件で、訪問により対応。障がい者は問い合わせが1件あつた。児童はH23年度18件がH24年度は34件と

事は過負担などのよう

にみているか。ケースワーカーの導入は。

村長 地区担当者による訪問件数が偏らないよう考へる。人口増加に対しては委員数を増やすよ

う国へ要望する。社会福祉士を地域包括支援センターにH26年度配置を考えている。職員2人を研修に派遣している。

虐待が増加している。子育て教育支援相談室が窓口になり、関係者が一体になり支援していく。

村道認定外道路の整備について



山崎文直

障がある場合は復旧工事を実施している。自

主的に整備していただき

事も実施している。自

主的に整備していただき

2人の体制からさらなる充実が必要では。

問 村道認定外道路(昔の公団に赤線で示されていた道路)が多くある。



通称“赤線”といわれる認定外道路

き必要な資材の提供を図つては。

問 地域に協力をお願いすると

春と秋の砂利敷きには資材提供している。

問 中間教室がある中間教室が小中学校に近づくという声がある。

同様に補修等必要な資材提供はしていく。方法は

建設水道課でまとめ区長会で報告する。

問 0～18歳までの総合的な子育て教育支援体制をどう進めるか。

相談室が窓口となり、調整を行っている。児童虐待などあらゆる問題について連携し家庭訪問、巡回相談やケース検討会等を行い取り組んでいる。

相談員は現在2人だが学校での事案が頻繁になる傾向なので、人員増も検討する。

問 教育委員長

児童生徒の状況に個人差があり、近くにあることはありがたい。相談室、中間教室とも一部屋で狭であり、場所等を検討できればと思う。

子育て教育支援相談室が窓口になり、関係者が一体になり支援していく。

支

す

す

す

一般質問

問 まっくんバスの利用状況は。
村長 まっくんバスの利用状況は、交通弱者が対象といふこともあり、今後も大幅な利用増は見込めないが、2台運行の効果で徐々に伸びており、役割が果たせていると判断している。

問 利便性の高い代替交通手段の研究が必要ではないか。
村長 デマンド（登録制で利用希望の予約をとり配車する）方式は満席た。

問 まっくんバスの利用状況は。
村長 まっくんバスの利用状況は、交通弱者が対象といふこともあり、今後も大幅な利用増は見込めないが、2台運行の効果で徐々に伸びており、役割が果たせていると判断している。

問 大芝高原の軽トラ市を通年開催する考えは。
村長 H24年は8月と10月に開催し生産者の顔が見えるなど好評であった。



加藤泰久

まっくんバスの利用状況は



もっと利用してほしいまっくんバス

問 村道10
9号線（国道の田畠信号から西天に通じる村道）と春日街道交差点で今年に入り人身事故3件、物損事故4件が発生している。信号機を設置して欲しい。

問 村道10
9号線（国道の田畠信号から西天に通じる村道）と春日街道交差点で今年に入り人身事故3件、物損事故4件が発生している。信号機を設置して欲しい。

問 味工房の世代交代や今後の経営方針は。
村長 味工房の会員は若い人も入り、平均年齢66才の働き盛りのメンバーだ。会の献身的な協力で今年は売り上げも伸びている。ずっとこのままでしばらくはこの体制で運営したい。

問 味工房の世代交代や今後の経営方針は。
村長 味工房の会員は若い人も入り、平均年齢66才の働き盛りのメンバーだ。会の献身的な協力で今年は売り上げも伸びている。ずっとこのままでしばらくはこの体制で運営したい。

問 障がい者の仕事を暮らしづの場を創出して。
村長 障がい者の就労支援は大切だ。グループホームについては今後、

問 障がい者の仕事を暮らしづの場を創出して。
村長 障がい者の就労支援は大切だ。グループ

問 地区や自主防災会役員に女性を何割か登用できるようお願いしては。
村長 自主防災連絡会にはすでに頼み済み。区は健康部に女性が増えた。地区によつては役員内に女性枠の人数を決めているところもあるが総じて少ない。女性は家事などで忙しくなかなか受け頂けない課題がある。

出店者側のメリットなどを検討して、回を重ねる中で、将来は通年開催に拡大していきたい。

まずは出店をお願いしていき、定着すれば出店者に企画運営もお願いしたい。

味工房に障がい者雇用をジョブコーチ活用を



小坂泰夫



◇就労継続支援A型

○サービス方針

利用者と雇用契約を締結して生産性の高い就労活動を提供し、自立した経済生活を支援します。また、一般就労を目指す方には必要な知識・技術の習得を目指します。

○具体的なサービス内容

- ・地元の食材を活用した食品（豆腐・どら焼き）の製造販売
- ・接客サービスの業務として、西駒会館での宿泊や食事の提供、食品等の販売
- ・当施設（入所支援課内）の清掃、洗濯、配膳等の補助業務

を雇用し

ては。近隣でも障がい者が自然食の製造販売を行っており、地域の中で障がい者が一緒に暮らす共生のむらづくりに力を入れている。今回の質問で改めて就労支援の必要性を強く感じ、ジョブコーチのことも初めて知った。もう少し勉強させて欲しい。

問 県内では南信地域

が特に遅れているジョブコーチ（ハンディを持つ人と職場をつなぐ）資格保持者の育成と支援を。

関係者で研究委員会を発足させて検討していく。重度の知的障害者のための生活介護事業所の開設も必要と考えている。

一般質問

や防犯上解体等条例を制定する。空き家対策で景観

村長 個人的には、子育て世代や農家に役立つ制度であると思う。

社会保障の子ども手当・高校無料化・農家の戸別所得補償制度をどう思うか。

教育委員長 労組の主催であるが、都合がつけば出席したい。

参加者が少なくて残念。親の悩みは常にあります。それを聞いたり、懇談する場がほしい。教育委員も参加してほしい。

唐澤由江
教育関係者懇談会に参加して



懇談会の開会風景

1億3千万円で、電力買取り34円／kWで30年で元

問 村長 個人的には、子育て世代や農家に役立つ制度であると思う。

問 村長 喫煙は10時と3時で、ストレス解消もあり一律にはいかない。ニコロット使用も勧める。

問 村長 民間は景気が悪化している。禁煙を試行し、禁煙外来をすすめのは。

定し行政代執行を。

問 村長 調査検討中だが、問題が多い。さら地では税金が6倍にもなる。

問 教育委員長 オーバーフローで水は賄える。そのため1千万円の改修費を減額した。

が使えず1本でもオーバーフローで水は賄える。そのため1千万円の改修費を減額した。

問 村長 地形的に太陽光発電が適している。補助により25件1165kWを確保。305戸分に相当する。これを継続し、原発に頼らないエネルギー確保は必要である。

問 村長 地方分権法による度を導入しては。

問 村長 充分調査してから必要に応じて取り組みたい。

問 村長 現在3ヵ年計画と建築基準法の法定点検を行っている。非構造部材の耐震検査、改修は行っていく。長寿

問 村長 子ども子育て関連法案成立で村の取り組みは。

問 村長 H27年度から本格施行になっている。ま○授業の達人」認定事業を行ってはどうか。

問 村長 南箕輪小学校、中学校では被災地の支援を行いました。大変良いことなので広報してほしい。

問 村長 日々の研修に取り組みながら、子ども達に評価してもらう方法も取り入れていきたい。

問 村長 人口増加の対応、教育施設、地域力の向上、農業や産業の取り組み、観光交流、土地利用ほか課題は尽きない。住みよい村にするために前に進めていく。



南箕輪中学校“支援米”

安心の子育て・福祉・教育の充実に向けて



百瀬輝和

ル法の成立で村の対応は、これまでの取り組みである。広域での取り組みがいいと考える。

命化の維持管理も行って作らないか。

予算もかかり面は作る考えはない。収集法の徹底が大切と考える。

授業で教える技術と指導力、資質向上に「○授業の達人」認定事業は。

授業で教える技術と指導力、資質向上に「○授業の達人」認定事業を行ってはどうか。

村長の考えるこれから村の課題は何か。

教育施設、地域力の向上、農業や産業の取り組み、観光交流、土地利用ほか課題は尽きない。住みよ

い村にするために前に進めていく。

議会報告

議会日誌

(11月から1月の主なもの)

11月	12月
1日 ● 防犯パトロール	2日 ● 村境観察
2日 ● 教育関係者との懇談会	5日 ● 議会活性化検討特別委員会
5日 ● 議会運営委員会	12日 ● 第2回議会臨時会
12日 ● 議会全員協議会	● 上伊那消防広域化協議会
12日 ● 第2回議会臨時会	● 社会福祉協議会理事会
20日 ● 議会と語る会	20日 ● 議会と語る会
22日 ● 伊北環境行政組合臨時議会	22日 ● 上伊那広域連合議会
28日 ● 議会運営委員会	3日 ● 第4回議会定例会開会
3日 ● 上伊那広域連合議会	5日 ● 経済厚生常任委員会
5日 ● わくわくクラブ役員との懇談会	5日 ● 総務文教常任委員会
10日 ● 議会全員協議会	10日 ● 防犯パトロール
12・13日 ● 定例会一般質問	● わくわくクラブ役員との懇談会
14日 ● 議会運営委員会	● 第4回議会定例会閉会
14日 ● 伊那消防組合議会	12日 ● 上伊那中央行政組合議会
21日 ● 伊那消防組合議会	21日 ● 伊那消防組合議会
26日 ● 伊北環境行政組合議会	26日 ● 伊北環境行政組合議会
3日 ● 村成人式	3日 ● 新春賀詞交歓会
3日 ● 商工会年始会	● 防犯パトロール
4日 ● 新春賀詞交歓会	● 議会全員協議会
8日 ● 防犯パトロール	● 村消防団・赤十字奉仕団出初式
13日 ● 村消防団・赤十字奉仕団出初式	● 上伊那との懇談会
15日 ● J A上伊那との懇談会	● 上伊那消防広域化協議会
18日 ● J A上伊那との懇談会	
21日 ● 上伊那消防広域化協議会	

新春の行事



1月3日、晴れて172人が成人式を迎えるま
した ←

今年一年の無事を祈念して
1月13日、村消防団・赤十字奉仕団出初式 ←



第2回臨時会

平成24年

第2回臨時会は、11月12日に開かれました。平成24年度一般会計補正予算（第3号）は、農業用施設災害復旧費等256万9千円を国庫補助金78万円と予備費178万9千円から支出し、総額を52億0734万8千円にするもの。（全員賛成）

H25年の新しい年を迎え村民の皆さんにおかれましては、幸の多い年のスタートが始まったのではないかとお慶びを申し上げます。議会だよりも今回で100号の発行となりました。こうした回数を迎えたのも諸先輩の議員が培ってきた努力があったからだと感謝をしているところであります。

今後も議会の様子をよりわかり易く伝える会報として、多くの皆さんに読んでいただけるようにと考えています。その他ホームページ、TV録画と合わせて広報してまいりますので、よろしくお願いをいたします。

編集委員 山口守夫

